

## バイナリーオプションワーキンググループの設置、協議のプロセスを振り返る

### 目的：金融商品取引として、施策を検討

1. 健全な成長を促す商品性
2. 投資者保護上の措置
3. 取引価格に対する投資者からの信頼性

### メンバーは15社（座長以降は、BO取扱い有無、会員番号順）

#### （BO取扱い業者）

- FXトレード・フィナンシャル（座長）
- GMOクリック証券
- トレイダーズ証券
- サクソバンクFX証券
- IG証券
- FXプライム
- ヒロセ通商
- カカクコム・フィナンシャル（第1～2回）

#### （非BO取扱い業者：幹部会メンバー）

- 松井証券
- 楽天証券
- マネックス証券
- セントラル短資FX
- 外為どっとコム
- サイバーエージェントFX
- マネーパートナーズ

### オブザーバー

- 金融庁
- 東京金融取引所
- 大阪証券取引所
- 日本証券業協会（第4回～第10回）

### 事務局

- 一般社団法人 金融先物取引業協会

### 座長の役割

1. 経験に基づき論点を整理・発言
2. BOに関するデータ・傾向を示す
3. 運営上の課題・問題点の報告
4. 顧客対応事例の共有

- 第1回開催：金融庁・事務局からの説明
- 第2回開催：論点整理・課題の洗い出し
- 第3回開催：最終ドラフト・基本資料作成
- 第4回開催：「自主規制骨子」の合意形成

2012年内（4回）で規制骨子を取りまとめ。

2013年3月に商品性合意、4月24日に最終報告公表。